

鳥栖・三養基地域自立支援協議会 こども部会議事録

日時：令和5年4月11日（火）10：00～11：30

場所：鳥栖市役所 東別館

（1）今年度の事業計画の説明

令和5年度の活動目標

今年度もこども達への支援の質の向上を目指し、支援者や事業所のレベルアップの為に研修を継続して行います。また「こども達と保護者が地域で安心して暮らす」ことを目指す為に地域の課題の掘り起こしを行い、解決に向けた会議を行っていきます。

部会長 カラーズFC 倉富 彬氏

副部会長 叶 松尾 藍氏

副部会長 たっちキッズ中央 伊藤 裕太氏

（2）福祉サービス事業所の上限管理について

（3）グループディスカッション

・地域の課題・地域貢献・地域の子供たちとのかかわり・不登校児について討議
をしています。内容は以下に記載しています。

◎1班

地域の課題

資源が足りない。学童が無くて放デイになることもある。

地域の子供との関りは地域の特色もあり難しい。

ある事業所は放デイを開放して地域と触れ合うことも。

（子供が「地域の子どもと遊びたい」と言う。）

◎2班

保護者は情報がない、求めにくい。

行政も療育に行ってくださいとは言えない、こちらも伝えられず親もどうしていいかわからない。イベント等も個人情報の観点から難しい。ある農家は県からの補助をもらい収穫体験などのイベントが出来ている。そういうところに参加し、地域とのつながりを増やしていくのは。まずは知る機会を増やすことが大事。こういった場でイベントなどの情報を共有するのはどうか。

◎3班

医ケアの受け入れ場所が少ない。そのため保護者もゆっくりできない。

地域の課題では鳥栖市開催のお祭りなどで露店やワークショップなどに参加している。不登校児は日中一時支援や家庭連携支援で対応している事業所があった。中学校の子どもは学校との連携が難しく、家から出てこれない子どもは、家庭連携で近くの公園に行くなどしている。

◎4班

事業所評価アンケートで、地域交流のところが毎年検討事項になることが話題となった。

外出支援の公園や散歩でごみ拾いなどをして地域貢献としてはどうか。

就学する時点で不登校などの問題に対応できるような情報発信をしてはどうか。

◎5班

学校や地域の保育園や幼稚園に部会などに参加してもらうことや、話す言葉も専門的なことを少なくして理解を求める。

情報量や知識を増やす努力をすることも大事。

親に笑顔でいてもらうこと＝困り感が減＝地域貢献

(4) その他

次回の会議予定

令和5年7月11日(火) 10:00～11:30